



ひまわり

94号

平成22年11月20日

- ② 福寿園創立30周年記念チャリティゴルフ開催
- ③ 秋の文化祭開催
- ④ 第5回 利用者満足度調査報告
- ⑤ 法人創立30周年 特別寄稿
- ⑦ 各施設の出来事
- ⑪ 家族会だより
- ⑫ 第7回「福祉の絵手紙」入選作品紹介



第7回

福祉の絵手紙

最優秀賞

奥村 佐和子 様(一般・名古屋市)



福寿園創立30周年記念 チャリティゴルフ開催!

去る10月14日、絶好のゴルフ日和に恵まれて豊田カントリー倶楽部(豊田市岩滝町)にて、法人30周年記念行事の最後を飾ってチャリティゴルフコンペが開催されました。

豊田CCは鞍ヶ池公園の丘陵地帯に広がる由緒ある名門コースです。「盲人に愛のショットを」と題して、協賛と参加をお願いしたところ、加藤正二前豊田市長をはじめ行政関係、福祉関係、業者関係等96名の方にご参加頂くとともに、多くの皆様から協賛品のご提供を頂き、盛大に開催することができました。アウトイン各12組ずつの同時スタートで進行了ましたが、ほとんどのコースにドラコン賞はもちろん、チョロコン賞、なんでもアピコン賞などが設けられ、各ショットコースには法人の各施設よ

り選出されたチャリティガールが待ち受け、皆様からの浄財を集めさせて頂きました。お陰様で皆様快くボックスへ募金を下さり、総額で338,000円ものチャリティを頂くことができました。

表彰式では、贈呈先団体を代表して豊田市身障協会の関安彦会長にお越し頂いて贈呈式を行うと共に、下記団体にも贈呈をさせて頂き、視覚障害者福祉の向上に役立ててもらおうこととしました。優勝は(株)松栄管工の浅野晋さん、準優勝は(社)福愛知たいようの杜、吉田一平さん、ベストグロス賞は土井塗装工業(株)の土井喜久夫さんという結果でしたが、参加者全員に各賞を贈り、参加された皆様の素晴らしい笑顔が印象的な一日となり、「または非やってくれ」という励ましの言葉を沢山頂きました。こ

の30年間、日となり陰となり、私ども福寿園を支えて頂いた皆様とこのようにな楽しく有意義な一日を過ごさせて頂いたことは誠にありがたく、次の30年につながるものとただただ感謝申し上げますのみです。今後とも、視覚障害者のためのチャリティ基金は私どもの原点である「盲老人の福祉のために」という設立趣旨を忘れないために文化祭等の場でPRし継続をまいります。本当にありがとうございました。

寄贈先

特例社団法人豊田市身障協会

愛知県立岡崎盲学校

愛知県立名古屋盲学校

愛知県立盲人福祉連合会点字図書館「明生会館」

寄贈物品

• DVD/CDデュプリケーター×1

• 点字編集システム5パッケージ版×3
• 電子メールソフト マイメールⅢ×3

• プレクストークポケット×2

• デル製 ノートパソコン×1

各施設で秋の文化祭が行われました。

第20回 田原福寿園文化祭

地域の皆様との交流を深める文化祭も、今年20回目の開催となりました。午前中には、福寿園はくくむ会「未来」主催により「福祉の心」絵手紙、作文の優秀作品表彰式が行われました。



午後からはもち投げや今年の新沼謙治さんをお迎えしました。素晴らしい歌声はもちろんのこと、目の不自由な方、車いすの方、一人ひとりに時間をかけて丁寧に握手して下さり、今年も感動のひとつでした。

みなみフェスタ2010

あいにくの雨の中、足元の悪い中を、500名を超える皆さんに参加いただき、記念式典を行



たあと、扇ひろ子さんのコンサートを皆で楽しみました。笑顔いっぱい、楽しむ方、感動のあまり泣き出してしまう方、皆さん各々目いっぱい楽しい時間をすごしました。

第22回 豊田福寿園文化祭

エコ風船に花の種やメッセージをつけ空高く飛ばし、どこかの誰かに届く事を思い浮かべ、みんなワクワク。と同時に歓声が響きわたりました！



またステージでは、ベリリダンス、コーラス、マンドリン演奏などの自慢大会など地域の方々によるパフォーマンスで大盛況。ご利用者、ご家族、地域の方々に豊田福寿園のありのままの姿を見て頂いた一日でした。

第4回 ひまわりフェスタ

10月17日(日)、秋空の下、第4回ひまわりフェスタが開催されました。特別講師として小林良正先生に来て頂き、笑い声の絶えない楽しい講演を行ってくれました。講演で心が満腹になったところで、今回の目玉の一つ



であるデザートバイキングです。たくさんのお客様やデザートにチョココレートファウンテン甘い香りに包まれた会場は熱気に溢れ、みなさんとても満足された様子でした。

第3期生前前期修了式

10月9日に「ひまわりの街ホームヘルパー2級養成講座」の第3期生の修了式が行われました。今期は、14名の方が130時間のカリキュラムを修了し、万感の思いで修了証書を受け取られました。



これから福祉施設やヘルパーで活躍される方、在宅での介護に勉強したことを役立てる方など様々ですが、皆さんのご活躍を期待しております。

訃報



東三河事業部長 齊藤守良が平成22年9月18日未明、享年67歳にて永眠しました。

昭和63年に社会福祉法人福寿園に奉職し、22年もの間、田原市、豊田市、武豊町内の法人施設の施設長などを務め、法人の礎を支えてきた一人でした。故人の冥福を謹んでお祈りいたします。

生前、行政及び関係団体の皆様から賜りました、故人に対しての温かきご厚情に対して、本人に代わり深く感謝、御礼申し上げます。

利用者満足度調査の結果について



第5回利用者満足度調査に回答頂きましたご利用者・ご家族の皆さん、ご協力ありがとうございました。調査結果につきましては、去る7月25日(日)に行われました職員合同研修会にて、概要報告を致しました。その後、各施設で反省会を開き、現在は各施設・事業所におきまして改善計画を立て、改善活動に入ったところです。皆さんの貴重なご意見に真摯に耳を傾け、改善に向け努力する所存です。

調査の概要

さて、まずは第5回目の調査概要ですが、今回(第5回目)は平成22年3月～4月の2ヶ月間に調査を行い、法人全事業所62事業所の利用者のうち、4,431名の配布し、2,420部の回答を頂き、回収率は54・6%でした。調査対象サービスは特養、ケアハウス、特定施設、養護(盲)、ショートステイ、デイサービス、ホームヘルパー、入浴サービス、ケアプラン、地域包括支援となります。アンケートは無記名回答とし、本部にて一括回収をし、サービス研究会が中心となつて、平成22年5月～7月の約2ヶ月で集計、考察、講評を行い、「第5回利用者満足度調査報告書」にまとめました。その後は「利用者満足度調査報告書の活用フロー図」に沿って、各事業所において9月～10月に報告書の読み込み、改善目標を立て、11月から改善目標の実施に入っていきます。過去の4回の反省から、今回から法人統一のフロー図を作成し、①職員全員でアンケート結果をしっかりと読み込む期間、②改善目標を定め周知徹底の期間、③実際の改善への取り組み期間(途中で効果測定の実施)と、課題把握から改善目標の実行に

調査結果の概要

至るまで各事業所任せにせず、法人統一のフロー図に沿って一つひとつ行うことよつて、計画的にそして意識的・持続的に取り組めるように工夫をしました。せっかく回答を寄せてくださった方のご意見になるべく多くの職員が目を通すことにより、いつの間にか職員目線で行っていたサービスを、ご利用者の目線でご利用者の皆さんの立場から見つめ直し、サービスの質の向上を目指して参ります。

調査結果につきましては、サービス種別、事業所毎に満足度も違いますので、限られた紙面で纏めようとするとかえつて誤解を生じかねず、一概に申しあげることが非常に難しいのですが、しかし全体と通じて共通していることの一つの要素は、職員教育の必要性です。サービスの均一化について力を入れてほしい」といった意見が全事業所を通じて散見されました。感謝や労いの言葉も多く頂き、職員にとっては何よりの活力となりますが、一方で、一部の職員のために気分を害されている方も少なからず、いらっしやることわかりました。ここ数年で、施設が

増え、職員数が一挙に増加したことが大きな要因とは思いますが、まさに「サービスは人なり」です。地道に職員教育を重ね、介護技術はさることながら、人間的にも皆様から愛される人づくりに努めてまいります。

また施設設備についても、特に築年数のたった施設のご利用者から、備品の修理、老朽化による使い勝手の悪さが指摘されています。定期的な設備の点検の日を設け、確実にまた早急に修理、メンテナンスができるようなシステムの構築の必要性を感じました。ここ数年のうちに建設されたユニット型施設については設備のほかにも掃除が行き届いていないというお言葉を沢山いただきました。施設が新しいゆえに、またユニットという特性もあり、職員の意識も従来型施設より高いのだと思われまふ。従来型施設については、設備のメンテナンスとともに、有事の際避難経路となる廊下など、常日頃から整理整頓に留意していく必要を感じています。

特養の満足度

施設間格差はありますが、全般を通じて要望が多いのが余暇の充実です。ご利用者それぞれに違いはありますが、リハビリの充実やクラブ活動の満足度が低かったことが最大の

課題です。リハビリに意欲的な方には、さらに満足していただけるよう時間を延長や回数増加を実現し、また現存のリハビリやクラブ活動に楽しみを見出せないご利用者に、如何に楽しいひと時が提供できるかが課題です。

食事、入浴、排泄については、概ねどの施設も満足度が上がっていますが、後はどれだけご利用者個人的な要望にお応えすることができるといったことが課題となります。

また自立度が高く元気な方は外出や行事も楽しんで見えるようですが、自立度が低くベッドで過ごす時間が長いご利用者については、どのような生活の中で楽しみを見出しにくいのか今後の課題と言えそうです。

ケアハウス・養護の満足度

ご利用者の自立度が高いだけあって他の事業所に比べ、施設設備の不備についての要望が多い結果となりました。共有スペースだけでなく、個人の居室の設備に対する要望も多く、設備については自分一人ですぐすることもできず、施設職員の迅速な協力の要望が不可欠なのでしょう。また食事に対しても味付けやメニューなど、個人の嗜好に関する注文は多くありました。「量が足りないが、自分からは言いにくい」など配慮が

必要と思われる意見もありました。ご利用者の自立度が高いだけに近隣のおつき合いに悩む声も聞かれました。

ショートステイサービス

ご家族からは土日の利用や送迎の時間に対する要望が多く寄せられました。ご家族の生活に沿った要望が多いようです。利用中の要望についてはご利用者からは食事・入浴に対して高い満足度が得られましたが、ご利用者本人ではなく、ご家族回答率が高いだけに鵜呑みにしないように気をつけたいと思います。また、「どのように過ごしているか知らない」、「見学したい」といったご家族の要望も寄せられています。ご希望に添えるよう見学会が実施できればと思います。

ホームヘルパー

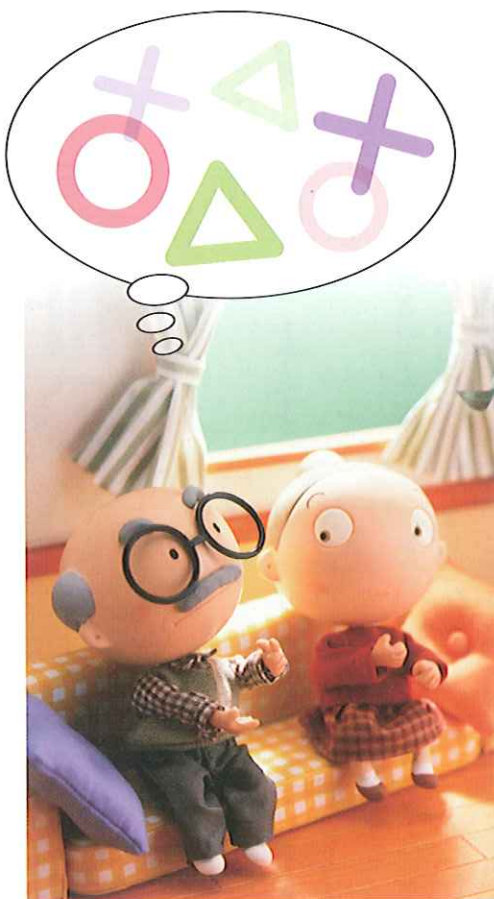
「来てくれるのが楽しみ」といったコメントを沢山いただきました。しかし、個人で利用者のお宅に訪問をし、サービスを提供する仕事がゆえに「個人差」が目立ってしまうのでしょうか。サービス内容に家事も多いため、つい、日ごろの我流が出てしまいうのかも知れませんが、どの職員であつても、要望をきちんと理解して、ご利用者の意に沿うようなサービス

提供が提供できるよう、サービスの均一化を図ることが課題です。

第5回満足度調査から みる今後の課題

大変多くの回答を頂きましたが、時間をかけ回答を書いてくださった方の要望、また過去の調査でも何ども同じ指摘を寄せてくださったご利用者の方の要望を真摯に受け止め、たとえ一歩ずつでもこのアンケートに寄せられた要望に沿うよう改善し、ご利用者の皆様の信頼を損なわないようにすることが今後の最大の課題であります。そのため大切な小さな一歩は、職員一人ひとりが皆様から寄せられた多くの声一つひとつに真摯に耳を傾けることだと思います。

す。ご要望の内容によっては実現までに時間がかかるものもありますが、職員一人ひとりが胸に刻み込んでいくか否かによって、結果は大きく違ってまいります。「優しく、温かく、親切的な真心のサービス」を法人のモットーとして唱和しておりますが、実際のサービスとしてそれを具現化していくことが出来なければ意味がありません。ご利用者それぞれに望むサービスも違うでしょう。それぞれのご利用者が望むサービスの形をきちんと捉えることが出来る職員育成こそが、私たち福寿園に課せられた使命だと思ひ、努めてまいります。最後になりますが、具体的なコメントを添えてアンケートをお寄せください。皆さまに再度お礼を申し上げます。ご協力ありがとうございます。



立 創 人 法 年 周 30 稿 寄 特 別



未来につながる福祉の心



ケアハウスパシフィック

施設長 山田とよ子

福寿園に奉職させていただき30年を振り返りますと、養護盲開設当初と今日では、随分世相の移り変わりを感じます。

例えば、福祉交流にて、地元町内の小、中学生が福祉訪問されますが、当初に比べて核家族の生徒さんが多くなりました。

祖父母と三世同居の子供が少なくなったために、とまどいと不安の中で来訪されます。

しかし、わずか一日でも貴重な福祉体験を通して笑顔で元気に帰って行きます。また利用者の皆さんも孫のように可愛い生徒さんに、相好を崩して喜んで歓迎しています。

今年も地元田原市の中学一年生の生徒さんから、福祉体験の感想とお礼状が届きましたので、一部ご紹介したいと思います。

『僕はすごく緊張していて、お年寄りに話しかけられるか不安でいっぱいでした。しかし、一歩玄関へ入っ

たら、施設の方や利用者の方々が明るく笑顔で迎えてくれたおかげで、僕も笑顔で仕事ができました。こんなに笑顔で一日居られたのは、皆さんのおかげです。』

『福祉交流では沢山のことを教えていただき有り難うございました。掃除や食事の準備、片付け、レクリエーション等いろいろあってもものすごく疲れたけれど、「有り難う!!」と声を掛けてもらい、とてもやり甲斐がありました。』

『挨拶を始め、ケアハウスで学んだことを次の土曜日に祖母にやってあげたら、すごく喜んでくれました。また僕が自転車で走ったりする時は、お年寄りを気遣い、邪魔じゃない所を走ったり、朝夕の挨拶を元気な声でスマイルを作り、「お早うございます!!」等と声を掛けて活用しています。』

『私はこの福祉交流で、思いやりとやさしさの大切さが分かり、とても

貴重な体験をすることができました。パシフィックのような施設の人たちだけでなく、全ての人たちにも思いやりの助けが必要なんだと感じました。このような発見ができたのも、パシフィックの皆さんのおかげだと思います。』

このように、愛と感謝と奉仕の経営理念が次世代の子供たちに、福祉体験を通して、助け合い、支えあう「福祉の心」がめばえ、未来につながっていく架け橋になれば、何より嬉しいと願っています。



各施設の

出来事

豊田福寿園

日帰り旅行

名古屋港水族館へ行ってきました!! 出かける前より資料を見たり子供の頃の遠足気分ワクワクしながら園を出発しました。バスの中では到着前からおやつを食べたり大騒ぎでした。天候にも恵まれ午後の自由時間は真っ先にイルカショーへ。皆さん、イルカの大ジャンプに大感激されていました。帰りにはお土産を沢山買い「あつ



という間だったね」と旅行を満喫された一日でした。

ケアハウスハンフィック 居酒屋

リフレッシュで入居者2名と居酒屋へ行きました。雰囲気の良いお店と豪華な刺身盛りで感激され、お二人ともお酒がとても進み顔を真っ赤にしながら、失敗談や思い出話など、あまり聞く機会がない話や普段、なかなか口にならない本音話してくれました。「楽しかったなあ。今までで一番良かった」と上機嫌で帰路につきました。その後も「あの時は楽しかったな」と笑顔で話しかけてくれ



る二人に私の胸もいっぱいになります。

みなみ福寿園

餅拾い

晴天に恵まれた日の午後、近くの秋葉神社からお誘いをいただき餅拾いに行ってきました。たくさん餅が拾えるようにととても良い場所を準備してください、はりきってたくさん拾って帰りました。餅はおいしく皆でペロリといただきました。ごちそうさまでした。



昭和の里 秋祭り

10月16日、第2回昭和の里秋祭りが行われました。今年はお利用者様とご家族様を招待し開催しましたが、当日はたくさんの方で賑わいました。

催しものは飲食バザーやゲームコーナー、のど自慢大会や日本民謡、大正琴を行います。ゲームコーナーは紙ヒコーキ飛ばし、宝探し、人間もぐらたたきゲームがあり、中で



も人気だったのが職員がもぐらになったもぐら叩きゲームで、ご利用者様だけでなくご家族様もゲームに参加し楽しみました。

午後からの、のど自慢大会ではみなさまそれぞれ得意な曲を披露し、ご家族様の飛び入り参加もあり、とても盛り上がりました。

日本民謡、大正琴を楽しまれた最後に開所してから今までの昭和の里デイサービスセンターの思い出の写真やプロジェクターで映し出し、みなさまにご覧になっていただきました。映像を見て懐かしむ方も多く、楽しんでいただくことができました。

一泊旅行

10月21日から22日、養護恒例の一泊旅行に行ってきました。今回は少し遠出をして、犬山市のリトルワールドと長野県の屋神温泉へ出かけました。



装を着る体験をしました。ドイツといえば、おとぎ話のグリム童話の発祥地。美しい建物をバックに、女性はお姫様、男性は王子様：と、みんなでメルヘンなおとぎ話の主人公になりきってみました。ほんのり色づきはじめた紅葉に抱かれながら、スペースになる温泉と豊かな山の幸に大満足の旅でした。

リトルワールドでは世界の文化を体験し、ドイツの村では民族文

山

田原赤羽根デイサービスセンター

合同風船バレー大会

10月22日、秋のレクリエーション大会と称し、田原デイと赤羽根デイ合同の風船バレー大会を行いました。どちらのチームも試合前は緊張しているようで無口でしたが、試合が始まるとどちらのチームも目をキラキラさせ真剣な顔でナイスプレーあり、珍プレーあり、歓声と笑いの渦巻く雰囲気の中であつという間に時間が過ぎてしまいました。

風船バレーをや



つたことのない田原デイの利用者の方々の中には思わぬ強力なアタッカーがいたり、レシーバーがいたりして、日頃から風船バレーをやっている赤羽根デイが押され気味でしたが、チームワークで戦った結果、僅差で赤羽根デイが勝利：しかし、両チームとも勝負の勝ち負けでなく、合同レクリエーションの楽しさの方が勝っていたようで、利用者の方たちがそれぞれ口にするのが、緒になってきたことの楽しさ、嬉しさ、そして、またやりたい等々の言葉がありました。今後レクリエーション等を通し交流会をしていきたいです。

合同ミニ運動会

平成22年10月28日(木)武豊福寿園で知多事業部4施設のデイサービス



スセンター、ケアハウス、養護老人ホーム8チーム、応援者を含め総勢105名が参加。個人、団体競技4種目の熱戦が繰り広げられました。

借り物競走では、サンタクロースや天使、フラダンサー等に変装し場内は大爆笑。個人競技には各施設長も参加。普段は見られない施設長の姿に入所者、利用者の方々は大喜びでした。

優勝は、東海福寿園養護老人ホーム、準優勝は武豊福寿園デイサービスセンターでした。

皆さんの笑顔、とても楽しかったという言葉が私達の宝物となりました。利用者の方々がいつまでも楽しみを持って生活して下さるよう、職員一同サービスの充実に努めていきたいと思えます。来年も皆さん、元気に運動会を行いますよう。



くすのきの里

自助具のボランティアさん



「車椅子に合ったテーブルがあれば食事の時など便利なのに」といった入居者の方の声に応え、ご家族の紹介で、武豊町ボランティアチーム自助具in武豊さんに来て頂きました。まずは、入居者の方と一緒に打合せをしました。普段から困っている点などをお伝えして、車椅子の寸法に合った木製テーブルを作成して頂きました。ご本人のご要望でもあります肘が当たる部分にはクッションが付きました。設置して1カ月が過ぎ、使い勝手の悪い点はアフターケアがあり、何度も施設に足を運んで

東海福寿園

かわいいおばけ



10月25日、かわいいおばけに仮装した託児っ子たちがユニットをまわりました。先生お手製のかぼ

下さいました。入居者の方からは「食事の時とても便利になりました。」と喜びの声が！同じ町の中でこのような出会いがあり、ボランティアさんとの繋がりを大切にしていきたいと思えます。



ちャスカートやアクセサリーを身につけ、さあ、出発です。「ハッピーハロウィン！」

「お菓子ちょうだい」と手を出し、もらったお菓子で、ハロウィンの車はいっぱいでした。

「お菓子ちょうだい」と手を出し、もらったお菓子で、ハロウィンの車はいっぱいでした。



ひまわりの街

楽しく手作り♪

介護予防デイサービスでは、毎日ご利用者の皆さんが充実した1日を過ごせるよう様々なメニューを用意しています。中でも人気は、週替わりの創作活動です。季節に合わせて飾り物や万華鏡などお孫さんの遊び道具も作ります。「今日は何を作るの?」「2つ目は前よりももっと上手に作るわ!」と皆さん意欲たっぷり。お互いに手伝ったり手伝われたり、得意なご利用者が先生になることも。さて来週の予定は?



東海福寿園

4年ぶりの帰宅

山口鈿雄さんは4年前まで、ご自宅にて生活をされていました。最近では体調も不安定なことが多く、歩行のふらつきもみられていました。しかし、懐かしの風景・におい・顔ぶれに触れたからでしょう

か。自宅に着くや否や、足に力が入り、目もぱっちり開いて、とてもうれしそうな表情をされました。仏壇に手を合わせたり、自宅で栽培しているみかんを食べたり…1時間ほどでしたが、ご兄弟やひ孫さんまでが集い、昔の白黒写真をみながら職員も交じって昔話に花を咲かせました。



渥美福寿園

祝105歳、田原市最高齢

9月15日に園内にて、敬老会が行なわれました。渥美福寿園には田原市で最高年齢となる入所者さ



んがおられます。年齢は何と105歳です。市長から表彰状をもらい、とても喜ばれていました。シエさんの自慢は、105歳にして、自分の歯があることです。全部で15本の歯があり、すいかやモナ力が好物です。「歯を見せてください」と言う嬉しそうな口を大きく開けてくださいます。毎日歯磨きも頑張っています。

シエさんの笑顔には、みんなが元気をもらいます。これからも元気で暮らしてください。

武豊福寿園

ヘルパー調理実習

ヘルパーセンターでは、中央公民館にて第5回目の調理研修を行いました。利用者に季節感ある旬の食材を美味しく食べて頂けるように4名ずつでチームを作り、事前に考えたメニューを調理しました。訪問の空き時間を利用して各チームが工夫を凝らしながら、和気あいあいと調理をし、初山施設長に試食してもらい「おいしい」と言ってもらえ、少し自信がつけました。



研修終了後に写真入りのレシピを作成し、各自のレパートリーに加えました。



渥美福寿園家族会

去る、10月16日(土)渥美福寿園家族会では、草取り奉仕活動を行いました。当日の参加者は、前田会長を始め、家族会会員の方16名に加え、職員11名の



計26名の方々が参加しての活動となりました。活動内容は、建物の外周路沿いと花壇の草取りをみんなで協力して行い、1時間ほどで作業を終えることができました。

草取りが終わった後は、場所を移動して懇親会を行いました。女性会員の懇親会への参加がしやすいようにと、今回から時間を変更しました。今後も多くの方に参加していただけるように工夫をしながら活動を行って行きたいと思えます。

みなみ福寿園家族会



10月3日に青々とした芝生広場において、家族会バーベキュー大会が開催されました。秋だといってもまだまだ暑い中、少し雲が出てくるくらい快適な天気恵まれ、まわりに肉の香ばしい香りを漂わせました。

途中で突風が吹き、パラソルを持ち上げるというアクシデントも起き、記憶に残るたのしいひとときとなりました。

東海福寿園家族会



9月23日(木)に家族親睦会バーベキュー&清掃活動が行われました。

あいにくの雨となったため、ご家族の皆さんにはユニット共用部と各居室の清掃をしていただきました。皆さんのおかげで居室はもちろん、ユニットのキッチンや換気扇、食器棚は隅から隅までピカピカとなりました。

清掃活動の後はBBQです。お肉や野菜を食べながらご家族同士だけでなく、日々の介護を行っているスタッフとも親睦を深めることができました。お忙しい中、ありがとうございました。

くすのきの里家族会

10月30日(土)家族親睦会清掃活動&バーベキューを行いました。東海地方に台風直撃と心配されましたが、何とか室内で行うことができました。各ユニットのベッド回りや窓ふき、カーペットの清掃活動を職員とともに行っていただき、31家族52名のご家族に参加していただきました。その後は、家族同士の親睦を深めるために、バーベキューを行いました。くすのきの里も3年目を迎え、ご家族同士の親睦が深まってきたように感じます。

普段なかなか行き届かない清掃をお手伝い下さり、とてもきれいになりました。参加頂いたご家族の皆様本当にありがとうございました。



福祉の絵手紙

入選作品紹介



表彰式の風景

第7回福祉の絵手紙作品募集では、今回も269通もの多くのご応募をいただきました。そして、厳正な審査の結果、最優秀賞、優秀賞、理事長賞など10点の作品が選ばれました。表彰式は11月14日の武豊福寿園文化祭にて行われました。入選作品を紹介します。

最優秀賞は、表紙に掲載させて頂きました。

理事長賞

後藤 カヨ 様 (一般・豊橋市)



優秀賞

増田 秀子 様 (一般・みよし市)



入選

堀場 純子 様 (一般・武豊町)



水谷 桂 様 (一般・武豊町)



田島 すすぶ 様 (一般・武豊町)



川合 まき子 様 (職員・武豊福寿園)



堀 記子 様 (一般・刈谷市)



山下 範子 様 (一般・香川県さぬき市)



大林 令子 様 (職員・田原福寿園)



平成22年11月20日発行

■発行／社会福祉法人 福寿園 愛知県田原市六連町神ノ釜9-3 ☎0531-27-0008

■理事長／古田勝美

<http://www.fukujuen.or.jp>

IS09001/14001認証取得 ※ひまわりは再生紙を使用しています。